

給料5カ月削減案を全会一致で否決 圧倒的多数(25/32)で辞職勧告決議案を採択

中川幹太市長の不適切発言問題



その

後、議案が付託された総務委員会では、党議員団の橋爪議員が「事務当局で確認した不適切発言は

19日に市議会臨時議会が行われ、中川市長から、この間の不適切発言に関して、「その責任を重くとらえ戒めのため」として、給料を5カ月間全額削減する議案が、本会議で提案されました。

提案に質疑相次ぐ

これに対して、ほぼすべての会派から、「給料の削減で済ませられる問題と捉えているのか。辞職すべきではないか」との主旨の質疑が相次ぎました。同一の問題で7人も議員が質疑に立ったのは異例です。

日本共産党議員団からは上野議員が質疑に立ち、「過去いくつもこのような事案が発生していることから、市長としての資質が中川氏には欠けていると感じられない。様々な重大な影響を考えると、給料の減額で事足りるものではなく、あくまでも辞職すべきではないか」とただしました。

不適切発言は10件も

何件あるのか」とただしたのに対して、担当の課長は「今回あらためて振り返る中で、特に大きかったものとしては、今のところ、10件程度はあると思っています」と答え、問題の大きさがあらためて明らかになりました。

全会一致で否決

採決が行われる本会議では、この給料削減案に対して3人が反対の討論を行いました。党議員団からは平良木議員が、「学歴で人を判断するというのがんだもの見方から抜け出せていない、相手方の人権や人間的価値を認識できていない、思ったこと・感じたことを深く考えずにそのまま言葉に出してしまう、という問題を抱えており、市長としての資質に欠ける」と喝破しました。

その結果、全会一致で議案が否決され、直後に「辞職勧告決議案」が提案されました。

圧倒的多数で採択

辞職勧告決議案の採決に際しては、党議員団から橋爪議員が賛成討論を行い、「不適切発言をそのような素地を根本からあらため、人間としてより大きく成長した上で再度市民の信を問うべきであって、このたびは思い切って辞職し、市民に潔い姿を見せるべきだ」と述べました。

採決では、議長を除く31人中25人が賛成し、圧倒的多数で採択されました。

発言は真意不明

この決議には法的拘束力はありませんが、議会終了後の記者会見で市長は、「大変重く受け止めている。しっかり考えて決断したい」と述べました。

一方で、その後の24日の記者会見では、「厳しい声をしっかりと受け止める一方で、市長としての重責を果たしていかねければならないとの思いもある」「辞職を求める声がある一方、続投を望む声も聞いている」と述べたと報道されており、反省せずに続投する意思もほのめかしています。いずれにしても、その都度発言内容が食い違っているため、真意がどこにあるのかは不明です。

なお、この会見では、「9月議会前には今後のことについて判断して表明する」とも述べていることから、真摯な反省を基に、出処進退を明らかにすることが求められます。

真逆の会派も

なお、今回の議決にあたっては、給料削減案にも辞職勧告にも反対という会派がありました。

この会派は、「市長はそのまま職務を続けるべきであり、給料削減も必要ない」と言う趣旨の討論を行いました。これでは市民の思いに逆行するのではないのでしょうか。

毅然として対処

党議員団としては、今後の推移を注意深く見守り、状況に応じて毅然と

田村智子委員長の創立102周年記念講演に大きな感動と共感

15日、日本共産党は創立102周年記念講演会を行い、田村智子委員長が「いま日本を変える歴史的チャンス——暮らし・平和・人権、そして

未来社会」と題して講演しました。この講演は、世界と日本の資本主義の行き詰まりの中で、日本共産党の綱領路線の輝きを豊かに浮き彫り

にし、視聴者から大きな感動と共感の声が寄せられています。YouTubeでも視聴できますので、右のQRコードからどうぞ。



日本共産党上越市議員団ニュース

No.838 2024年7月28日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
 ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>